



# 兼徳建設株式会社

## 2025 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2025 年1月1日～ 2025 年12月31日)



発行日: 2026年2月19日

# 目 次

項 目	ページ
環境経営方針	1
組織の概要	2
事業や製品（商品）の紹介	2
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	3
主な環境負荷の実績	4
環境経営目標及びその実績	4
環境経営計画の取組結果とその評価，次年度の環境経営計画	5
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無	8
緊急事態対応試行・訓練	8
代表者による全体の評価と見直し・指示	9
これまでの環境活動の紹介	9

# 環境経営方針

## <環境経営理念>

兼徳建設株式会社は、社会の環境への意識の高まりに対応するため、自らの事業活動を通じて環境負荷の低減と改善に向けての取り組みを積極的、継続的に行い人と自然に優しい環境作りを目指します。

## <環境保全への行動指針>

当社は、事業活動が与える環境負荷を低減するために、下記の方針に基づき環境経営活動に務めます。

1. 当社の事業活動に関連する環境関連法規、条例及びその他要求事項を順守します。
  2. 次の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
    - ① 二酸化炭素排出量の削減
    - ② 廃棄物の削減及びリサイクルの推進
    - ③ 水使用量の削減
    - ④ グリーン購入の推進
    - ⑤ 環境に配慮した製品、サービスの提供及び施工
    - ⑥ 地域清掃等による環境保全、社会貢献活動の推進
  3. この環境方針は、全社員に周知するとともに、環境経営レポート等で社外へも公表します。
- 上記の方針達成のために、目標を設定し、定期的に見直して環境経営システムを推進してまいります。

制定日：2010年3月25日

改定日：2022年1月4日

代表取締役社長 兼子義信

■組織の概要

(1) 名称及び代表者名  
兼徳建設株式会社  
代表取締役社長 兼子 義信

(2) 所在地

本 社 〒770-0802 徳島県徳島市吉野本町6丁目6番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 工事部課長 TEL：088-655-5541  
担当者 事務管理部 FAX：088-655-5543

(4) 事業内容

特定建設業の許可内容：徳島県知事許可（徳-29）第4851号  
建設業の種類：土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、  
舗装工事業、しゅんせつ工事業、塗装工事業、水道施設工事業

(5) 事業の規模

売上高2025年度 367 百万円

	本 社	合 計
従業員 名	7名	7名
延べ床面積 m <sup>2</sup>	31 m <sup>2</sup>	31 m <sup>2</sup>

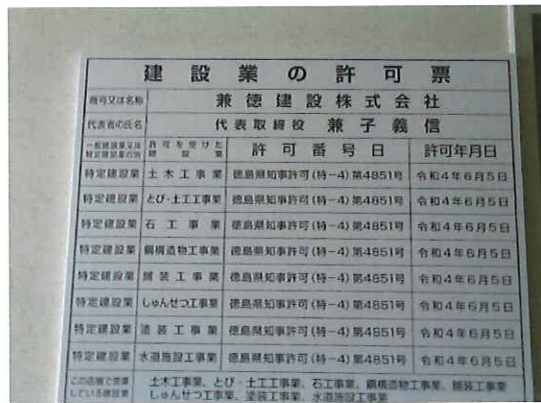
(6) 事業年度 1月 1日 ~ 12月 31日

■認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 兼徳建設株式会社  
対象事業所： 本社事務所及び建設現場  
対象組織： 全従業員

対象活動： 特定建設業の許可内容：徳島県知事許可（徳-29）第4851号

■事業や製品(商品)の紹介



建設業の許可票



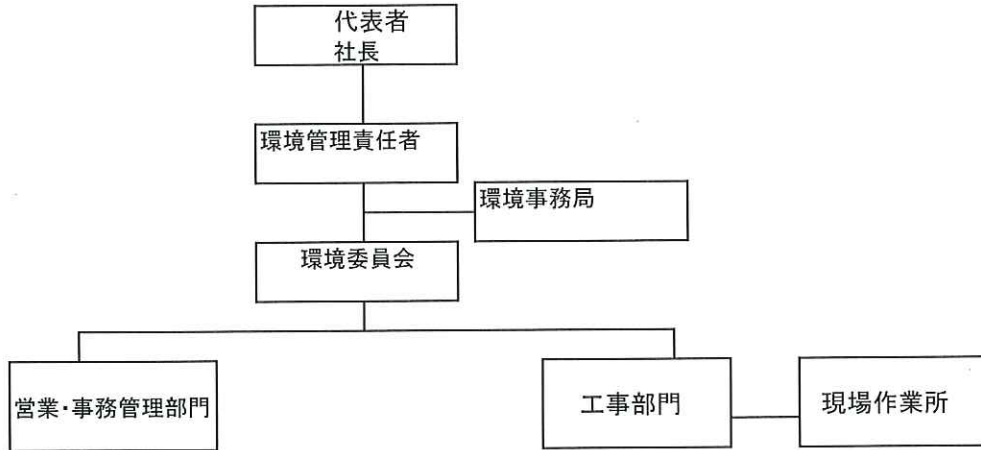
R7徳土 徳島小松島港(沖洲外地区)徳・東沖洲浮 棧橋撤去工事



助任橋橋梁下部工事 (斎藤・兼徳・バンドウリメイクJV)

■環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2026年1月6日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営計画の審議</li> <li>・環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>・試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性の自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動への参加</li> </ul>

■ 主な環境負荷の実績

項目	単位	2018年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	10,710	7,286	6,240
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン	0.045	0.032	0.029
産業廃棄物排出量	トン	79.85	0.20	243.27
総排水量	m <sup>3</sup>	16	16	16

※二酸化炭素排出係数 0.535 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 基準年2018年の電力会社の調整後の係数  
 0.457 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 2025年度の電力会社の調整後の係数

■ 環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値(2018年度)	2025年度		評価	2026年度	2027年度
			99.5%	(実績)		99%	98.5%
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	2,408	2,396	2,403	×	2,384	2,372
	目標達成率	目標値/実績値×100		99.7%			
電力による二酸化炭素削減(建設現場)	kg-CO <sub>2</sub>	3,223	3,207	53	○	3,191	3,174
	目標達成率	目標値/実績値×100		6048.9%			
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	910	906	687	○	901	896
	目標達成率	目標値/実績値×100		131.8%			
自動車燃料による二酸化炭素削減(建設現場)	kg-CO <sub>2</sub>	3,209	3,192	3,097	○	3,176	3,160
	目標達成率	目標値/実績値×100		103.1%			
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	9,749	9,701	6,240	○	9,652	9,603
一般廃棄物の削減	kg	45.0	44.8	28.7	○	44.6	44.3
	目標達成率	目標値/実績値×100		156.0%			
産業廃棄物の削減	kg	79,850	79,451	243,270	×	79,052	78,253
	基準年度比	目標値/実績値×100		32.7%			
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	16.3	16.1	15.7	○	16.0	15.8
	目標達成率	目標値/実績値×100		103%			
グリーン購入の推進(オフィス用品購入率)	% (購入率)	6品目以上	9品目以上	9品目	○	10品目以上	10品目以上
環境に配慮した施工	% 件	建設現場の環境影響評価実施 2件(100%)	建設現場の環境影響評価実施 100%	建設現場の環境影響評価 2件(100%)	○	建設現場の環境影響評価実施 100%	建設現場の環境影響評価実施 100%

※化学物質は使用がないので目標に設定していません。

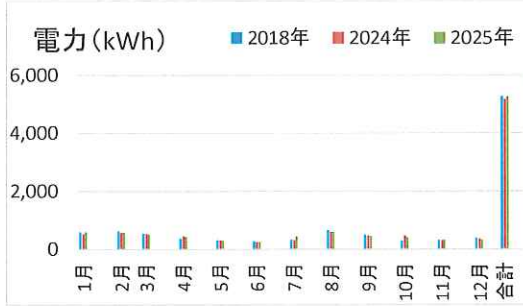
※水使用量については1%/年削減とする。

■環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の環境経営計画
数値目標	×	冬は寒く夏は暑い年度で全体で空調の負荷が増加し、目標達成はできなかった。次年度も、目標に沿って継続的に活動する。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	◎	
・パソコン使用時の省エネモード又は電源を切	○	



取組紹介欄

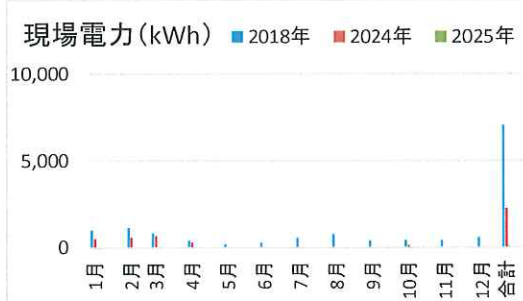


冷房温度 28℃ 暖房温度 20℃

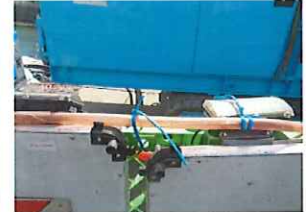
不要照明の消灯の推進

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2018年	593	630	551	376	311	285	331	659	509	301	326	397	5,269
2024年	532	569	534	446	301	257	319	599	481	465	306	365	5,174
2025年	591	580	535	431	306	250	436	601	458	415	318	337	5,258

電力による二酸化炭素削減(建設現場)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の環境経営計画
数値目標	○	元受け現場の件数が減少し、現場の使用電力は目標値より減少した。次年度も、目標に沿って継続的に活動する。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・パソコン使用時の省エネモード又は電源を切	○	



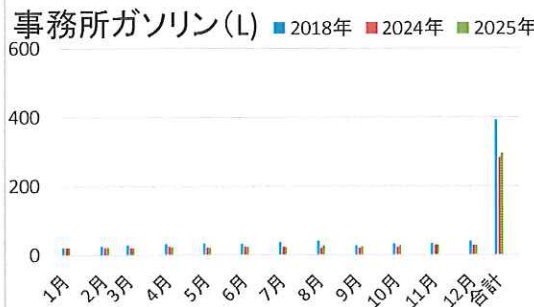
取組紹介欄



太陽光パネルによる建設現場の街灯照明(LED)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2018年	1,012	1,142	850	406	168	290	559	778	410	431	422	584	7,052
2024年	500	585	683	279	0	0	0	0	18	128	44	13	2,250
2025年	6	8	42	4	56	0	0	0	0	0	0	0	116

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の環境経営計画
数値目標	○	Web会議の推進、働き方改革での労働時間の短縮により、ガソリンの使用量が減少。次年度も、目標に沿って継続的に活動する。
・自家用車のエコドライブ励行	○	



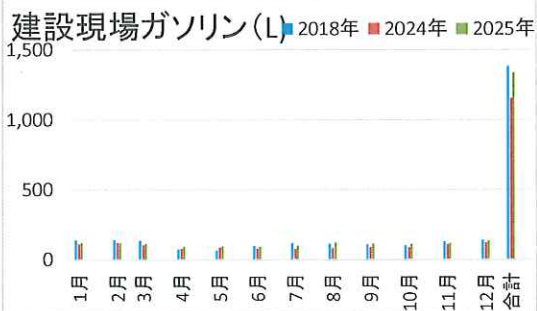
取組紹介欄



アイドリングストップのシール配布

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2018年	22	26	30	32	34	32	38	42	28	33	34	41	392
2024年	21	22	21	25	22	24	24	21	21	23	30	29	283
2025年	22	23	21	23	22	24	23	27	25	27	30	29	296

<b>自動車燃料による二酸化炭素削減(建設)</b>	達成状況	取組結果とその評価、次年度の環境経営計画
数値目標	○	施工現場の減少と施工現場の距離が近いことにより、自家用車のガソリン使用が減少。次年度も、目標に沿って継続的に活動する。
・自家用車のエコドライブ励行	○	
・工事車両のタイヤ空気圧のこまめな点検実	○	



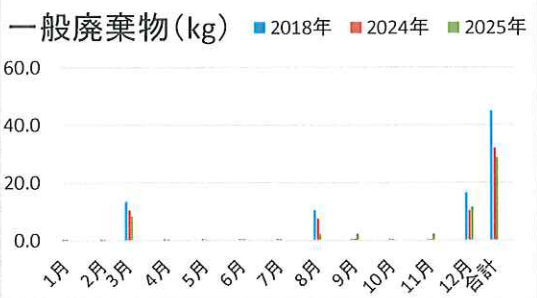
取組紹介欄



建設現場でのアイドリングストップ(重機)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2018年	140	142	138	75	70	99	119	115	110	104	130	140	1,382
2024年	113	120	105	80	88	80	76	82	90	90	110	120	1,154
2025年	120	118	115	94	96	91	101	121	114	113	117	135	1,335

<b>一般廃棄物の削減</b>	達成状況	取組結果とその評価、次年度の環境経営計画
数値目標	○	一般廃棄物の量は、ペーパーレスが進んでいることもあり年々減少している。次年度も、目標に沿って継続的に活動する。
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・コピー用紙の裏紙利用	○	
・使用済み封筒の再利用	○	



取組紹介欄



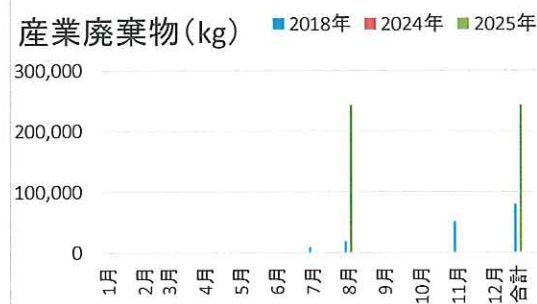
段ボール他資源ごみ



ゴミ分別状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2018年	0.5	0.5	13.5	0.5	0.5	0.5	0.5	10.5	0.5	0.5	0.5	16.5	45.0
2024年	0.5	0.4	10.4	0.4	0.4	0.4	0.4	7.5	0.5	0.4	0.4	10.4	32.1
2025年	0.3	0.3	8.3	0.2	0.3	0.4	0.3	2.2	2.3	0.3	2.3	11.5	28.7

<b>産業廃棄物の削減</b>	達成状況	取組結果とその評価、次年度の環境経営計画
数値目標	×	産廃を多く排出する工事が該当した為、産廃排出量は増加した。次年度も、目標に沿って継続的に活動する。
・分別の徹底	○	
・建設現場でのプラスチックゴミ削減	○	



取組紹介欄



産業廃棄物の保管

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2018年	0	0	0	0	0	0	9,170	19,010	0	0	51,670	0	79,850
2024年	150	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	200
2025年	0	0	0	0	0	0	0	243,270	0	0	0	0	243,270

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の環境経営計画
数値目標	○	基準年より水道使用量は減少した。次年度も、目標に沿って継続的に活動する。
・蛇口付近に節水シールの貼り付け	○	
・節水節電等の啓発ポスターを掲示	○	



取組紹介欄



節水の呼掛け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2018年	2.6	0.0	2.6	0.0	3.0	0.0	2.8	0.0	2.6	0.0	2.7	0.0	16.3
2024年	2.6	0.0	2.5	0.0	2.9	0.0	2.8	0.0	2.5	0.0	2.5	0.0	15.8
2025年	2.8	0.0	2.4	0.0	2.6	0.0	2.8	0.0	2.6	0.0	2.5	0.0	15.7

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の環境経営計画
数値目標	○	グリーン購入の目標は達成した。次年度も、目標に沿って継続的に活動する。
・事務用品グリーン購入比率向上	○	

取組紹介欄



エコマーク商品(蛍光ペン)



エコマーク商品(ボードマスター)

環境に配慮した施工	達成状況	取組結果とその評価、次年度の環境経営計画
・建設現場事務所に環境方針を掲載する	○	計画通りに実施された。
・元請工事は事前に環境影響調査を実施	○	
・顧客クレーム削減	○	
・ICTの活用	△	

取組紹介欄



建設現場の汚濁防止膜設置

■環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規は次の通りです。


適用される法規	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	順守・評価
騒音規制法	建設機械・重機 敷地境界で85dB以下、低騒音機械の使用	順守
振動規制法	建設機械・重機 敷地境界で75dB以下、低振動機械の使用	順守
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（コンクリート、廃プラ、建設汚泥等）産廃会社と委託契約書の締結、マニフェストによる適正管理	順守
徳島県脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策推進条	気候変動の緩和及び適応に関する取り組みをする。	順守
フロン排出抑制法	業務用エアコン、建設機械エアコンの簡易点検（1回/3か月以上）と記録の保管	順守
工事発注仕様書	排出ガス対策機械、建設副産物の再資源化	順守
オフロード法	対象機械を把握し、適合機械を使用し、点検記録・燃料伝票を保存している	順守



環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局より違反等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

■緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定：津波による吉野川の浸水	
■実施日 2025/5/19	■実施場所：石井町地先
■参加者 環境管理責任者、事務局長他グループ会社兼子建設社員 全11名	
■実施内容： 施工中の現場において、兼子建設との水中ポンプ車を使った排水作業の合同訓練を実施。	
■評価： グループ会社の訓練に参加することで、十分なコミュニケーションがとれ連携が上手くできた。また滞りなく訓練は実施できた。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子 手順書は有効であり改訂はしない	
	
排水ポンプ車訓練	

緊急事態の想定：対応拠点施設避難誘導訓練	
■実施日 2025年4月12日	■実施場所：兼徳建設(株)本社→駐車場
■参加者 災害対策本部長、事務局長他グループ会社兼子建設社員全10名	■実施内容： ・地震発生から10分以内に最寄りの駐車場まで避難する
■評価： 被災建物からの避難訓練を兼子建設と合同で実施した。火災発生の有無を確認後、最寄りの駐車場への10分以内の避難が完了し、遅滞なく避難訓練を実施できた。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子 手順書は有効であり改訂はしない	
 	
本店ビル全体の避難訓練の様子	

■代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2026年2月14日

環境方針については、特に見直しの必要はない。環境方針の社内周知は継続して実施する。環境経営計画については、受注工事での環境配慮を徹底し、適切に取り組まれているので、引き続き継続して実施すること。二酸化炭素排出量の目標達成は電力部門が大きく外気温度に左右される為難しいが、エアコンの設定温度の固定化等で継続して挑戦すること。関連法令遵守は法改正に対応済み。実施体制の見直しは特になし。環境教育も問題なし。緊急時訓練も予定通り行われて問題はなかった。今後もできることから挑戦して、環境活動に邁進していきたい。

社長 兼子 義信

- |           |                                          |
|-----------|------------------------------------------|
| 環境経営方針    | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし |
| 環境経営目標・計画 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし |
| 実施体制      | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし |

■これまでの環境活動の紹介



沈砂池工事

濁り水の処理



汚濁防止膜設置工事



徳島県OURロードアドプト

清掃活動



徳島県ごみゼロ運動



建設現場での防災広報

広報活動



建設現場での環境広報